

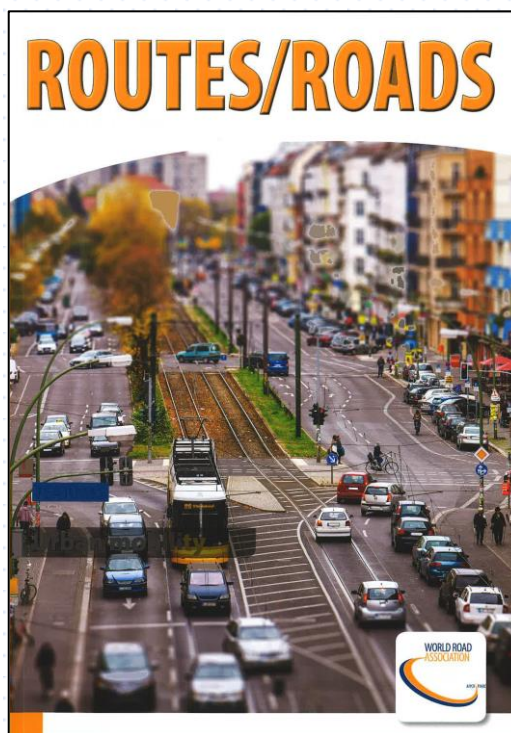
平成 31 年 3 月

PIARC 日本国内委員会からのお知らせ

PIARC 団体会員および個人会員の皆さまへ

日頃よりPIARCならびPIARC活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。ROUTES/ROADSの送付にあわせて、国内委員会よりお知らせさせていただきます。都市交通を特集した今号では、コンパクトシティの実現に向けた我が国の取り組みについても紹介記事が掲載されております。その他、各国からの最新の道路・道路交通に関する取り組みが紹介されておりますので是非ご覧ください。

1. ROUTES/ROADS 379号 巻頭記事



【今号の特集】

都市交通

【巻頭記事】

Patrick MALLEJACQ 氏 (PIARC 事務局長・フランス)

昨年 10 月に横浜で開催された PIARC 年次総会において、今後どのようなトピックに取り組み、どのような成果を出すことを望まれているか議論しました。これは全ての道路および交通関連分野において PIARC の存在に関わる重要な議題です。現在 2020-2023 年次期戦略計画が策定されており、今年 10 月のアブダビ世界大会で皆さまに発表する予定です。

そして、アブダビ世界大会の準備状況についても報告がありました。一部を紹介しますと、事前に募集した論文は世界各国から 600 件の抄録が寄せられました。また世界銀行や TRB のようなパートナー機関と共同で、合計 13 の「特別セッション」を開催、更にホスト国であるアラブ首長国連邦の提案で、各国の大臣が出席するセッションも計画しております。イベントに参加する出展者の数も増え続けており、このアブダビ世界大会がいかに魅力的なイベントであるか、ご理解頂けると幸いです。

デジタルなコミュニケーションが増えている時代だからこそ、これまで以上に直接顔を合わせる機会は必要不可欠です。PIARC は世界大会や国際的なセミナーを通じてそれらのニーズを満たすように努力していきます。

(筆者要約)

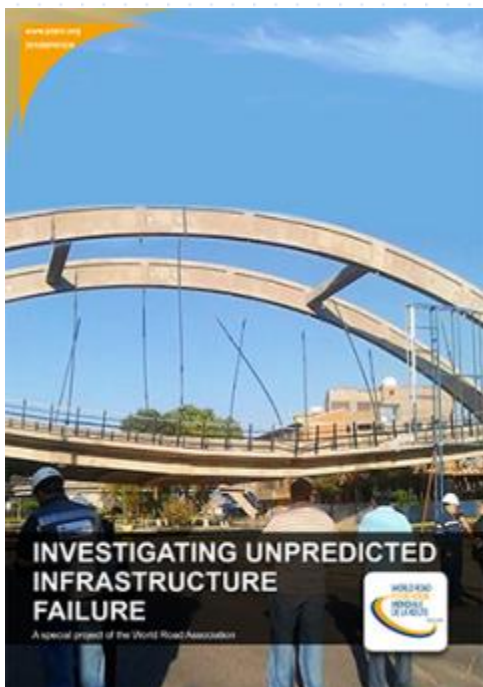
2. 今号の主な記事の紹介

- ✓ PIARC 活動報告 -- 4 頁
- ✓ イラン: 道路安全における PIARC の役割 --5 頁
- ✓ PIARC 道路辞典の言語にスペイン語を導入 --7 頁
- ✓ ヤング・プロフェッショナルの紹介 --8 頁
- ✓ ドイツ国内委員会フォーラムの紹介 --10 頁

【今号の特集】

- ✓ PIARC と都市が直面する課題について --13 頁
- ✓ 新モビリティサービスと都市景観について --15 頁
- ✓ 日本における公共交通ネットワークで結ばれたコンパクトシティの実現 --21 頁
- ✓ 都市部における持続可能なモビリティ --25 頁
- ✓ 都市における公共空間利用の最適化事例 --31 頁
- ✓ 中国の都市交通効率改善のベストプラクティス --37 頁
- ✓ プエノスアイレスにおける交通システムのインフラストラクチャーの発展の分析 --41 頁
- ✓ 「バス輸送」プロジェクトによる利益の向上 --46 頁
- ✓ ソウル地下鉄ユニバーサルデザインプロジェクト --58 頁

3. 新規 PIARC レポートのご紹介



【レポート名】

Investigating Unpredicted Infrastructure Failure
(予測不能なインフラ破壊の調査)

<https://www.piarc.org/en/order-library/29509-en-Investigating%20Unpredicted%20Infrastructure%20Failure.htm>

【レポート概要】

本レポートは、調査期間が通常の TC より短いスペシャルプロジェクトの報告で、世界中各地のUIF (Unpredicted Infrastructure Failure: 予測不能なインフラ破壊)に関する15のケーススタディを提供しています。UIFとは『良好な状態にあると見なされ、よく保守されている資産で破壊が発生した事例』と定義付けられています。

レポートは、インタビューとオンライン調査で収集されたケーススタディのデータをもとに、UIF に対する準備、UIF への対応、UIF からの回復の段階で、道路管理者が教訓として活用できる事例を評価しています。調査結果及び結論は、重大事象への対応サイクルである低減、準備、対応および回復の4つの各段階に対応しています。

報告書では、予測不可能な性質に起因するインフラの破壊について、重要な道路資産の場合は準備の一環として検討されるべきと述べています。

レポートの結論では、アセットマネジメントと検査、重大事象への対応の策定、UIF を管理する際の社内外とのコミュニケーション、およびUIF が重要な道路資産に影響を与えた場合の回復への影響、といった教訓が中心に挙げられています。

なお予測不能なインフラ破壊とは、橋梁の閉鎖のような、サービスの喪失につながる、資産の閉鎖または崩壊と定義することができます。

(筆者要約)

なお、今回ご紹介したレポート以外にも、PIARCのホームページから無料にてダウンロードできます。是非ご覧ください。

<https://www.piarc.org/en/publications/technical-reports/>

4. アブダビ世界大会に関するご案内



第26回世界道路大会が、2019年10月6日から10日にかけて、アラブ首長国連邦のアブダビ市で開催されます。我が国からも論文投稿や日本パビリオン出展など、会員の皆さまのご協力のもと、積極的な参加を進めていくところでございます。誠にありがとうございます。

会員の皆さまには大会参加登録料の会員割引がございます(別紙参照)。

また、6月1日までにご登録いただくと早期割引料金が適用されますので、ぜひご活用ください。

大会参加登録は、大会ホームページよりお願いします。

(大会公式HP:トップページ)

<http://www.aipcrabudhabi2019.org/>

PIARC の活動に関するご質問等ございましたら、以下までご連絡いただければ幸いです。

PIARC 日本国内委員会事務局 (日本道路協会)

安藤: ando@road.or.jp

PIARC 本部事務局

並木: yuyanamiki@piarc.org

引き続き皆様のご指導・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

PIARC 日本国内委員会事務局